

第3回認定 地域再生計画の概要(都道府県別)

番号	都道府県名	申請主体名(地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の概要	地域再生の支援措置の番号	地域再生支援措置の内容	地域再生分野	備考
1	北海道	滝川市	新産業育成による地域活性化プラン	建設業は、これまで地域発展の礎として重要な役割を果たしてきたが、公共投資の大幅縮減により、経営環境は厳しい状況に直面している。滝川市では、産業の振興は地域の活性化と雇用の創造に不可欠との認識のもと、重点施策として新たな産業づくりを模索してきた。この取組みを推進する一環として、廃校中学校を大菓の生産事業を新規に行う建設業者に無償貸与する。このことにより、中小企業の新たな分野への進出促進と活力ある地域経済の再生を目指す。	10801	・補助金で整備された公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化	地場産業・中小企業活性化	
2	北海道	足寄町	木質バイオマス未利用資源利活用構想	足寄町では、平成14年度に産学官連携による「足寄町木質ベレット研究会」が発足するなど、木質ベレットをはじめとするバイオマスエネルギーの利活用を推進している。この取り組みをさらに進めるため、廃校校舎体育館等を転用し、年間700tの処理能力のあるベレット生産工場を建設し、地域経済の活性化と雇用促進を図り、持続型循環社会の構築を目指す。	10801	・補助金で整備された公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化	地場産業・中小企業活性化	
3	秋田県	藤里町	緑と魅力あふれる町・ふじさと再生計画	本町においては、少子高齢化、遊休農地拡大等により、基幹産業である農林業の衰退が進む一方、世界自然遺産登録地である白神山等豊かな自然環境に恵まれている。そこで、補助事業により整備された「農村環境改善センター」を宿泊施設に転用し、自然環境の保全、農林業体験等エコ、グリーン・ツーリズムによる都市農村間交流における拠点施設として整備する。また「高齢者コミュニティーセンター」を放課後児童クラブとして改修し、就業者が安心して働ける環境整備を行う。このことにより、地域産物の提供、雇用創出による地域活性化を目指す。	13004	・補助対象施設の有効活用	都市農村交流・農林水産・バイオマス	
4	山形県	鶴岡市	つるおかの森再生構想	森林を支えてきた林業も、木材価格の低迷や林業家の高齢化に伴う生産意欲の低下により林業活動が停滞し、森林活動が行き届かず、森林の荒廃が目立ってきている。この状況を打開するため、地域木材の積極的利用により森林資源の循環を促進し、放置森林の管理施策を構築する。また、自然との共生という住民の要請が高まる中、新たな森林の活用方策を検討し、林業の自立、森林の再生、そして新たな森林資源の活用を目指す。	11203 212015	・地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置 ・「地域再生支援チーム」の設置	都市農村交流・農林水産・バイオマス	
5	山形県	遊佐町	持続的協働食料生産計画	地域の基幹産業である農業だが、国民の食生活変化により米の需要は低下し水稲生産の生産調整が長期に実施されてきた。水田の多面的機能を維持すると同時に輸入に頼っている飼料穀物の自給率向上を図るため、飼料用米の生産を振興し、養豚業者・生協団体との協同による国内産飼料と豚肉の生産を行い、水田を活用した農業生産拡大による地域活性化を図る。また、都市生活者である生協と生産基盤となる農村における対流・共生を推進し、双方の理解と継続的努力を通して地域活性化を図る。	230004	・都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化	都市農村交流・農林水産・バイオマス	食料自給率向上特区(同時認定)
6	福島県	福島市	飯坂町地域再生計画 ~もてなしとつるぎの飯坂温泉郷を目指して~	長引く経済の低迷など社会経済状況の変化により、地域経済も停滞し、観光温泉地として年間の入り込み数もここ数年減少傾向が続いている。このため、飯坂温泉を核に、市街地の中心部を流れる1級河川摺上川と、上流に位置する自然豊かな摺上川ダム周辺の3つのエリアを、観光を基盤とした地域再生に向けた連携の構成軸とし、地域全体が持続可能な再生を展望し、地域の歴史や資源などの活用や、温泉情緒豊かな風景づくりやまちづくり、自然景観保全の取組等をととして、もてなしとつるぎの温泉郷としての再生を目指す。	212028	・まちづくり交付金の創設	住環境・コミュニティ再生	

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共 団体名)	地域再生計画 の名称	地域再生計画の概要	地域再生 の支援措 置の番号	地域再生支援措置の内容	地域再生 分野	備考
7	茨城県	真壁町	歴史的たたず まいを継承し たまちづくり	本町の大字真壁地区を含む中心市街地は、 国指定史跡真壁城跡や筑波山系の山々を背 景に、古くは城下町、在郷町、商家町と時代背 景に合わせ近隣の文化・経済の中心地として 発展してきた。その地区には関東地方有数の 歴史的建造物が多く残され、本年度末には百 棟を超える有形文化財が登録される予定であ る。支援措置を利用し歴史的景観と地域の資 源を一体的に活用することにより、これら歴 史的建造物の保存・活用による歴史的たたず まいを継承したまちづくりを展開し、町全体 の経済の活性化を図る。	11203 201001 212002 212018 212028 212031 230007 230009	・地域再生支援のための「特定地域プロジェクト チーム」の設置 ・映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使 用許可の円滑化 ・道路占用許可弾力化(オープンカフェ等) ・コミュニティバス、乗合タクシーの許可に関する基 準の弾力化等 ・まちづくり交付金の創設 ・「水辺の自由使用ガイドライン」の策定 ・案内標識に関するガイドラインの策定 ・良好な景観形成の推進	国際交流・ 観光	
8	千葉県	市川市	男女共同参画 の推進による 市民交流活動 とにぎわい活 性化計画	平成3年に建設された消防署、男女共同参画 センターの複合施設において、使用しなくな った消防局研修ホールを同センターの研修ホ ールとして転用し、広く一般市民の利用に供す る。JR市川駅至近の距離に様々な市民活動が 行なえる文化施設の機能を有するホールが開 設されることで、都市機能がアップし、地域を 活性化させる。また、これまで小規模的にしか 実施できなかった同センターの女性の再就職支 援のための講座をホールを利用して規模を拡 大して実施することにより、利用効果を高め 地域の雇用創出を間接的に高めていく。	10401	・公共施設の転用に伴う地方債繰上償還免除	文化、生 涯学習	
9	新潟県	新井市	人がイキイ キ！生命輝 ふれあいの郷 「妙高」再生計 画	利用率が減少している勤労青少年ホームを 転用することにより、就労の場のない知的障 害者の能力開発や、雇用促進のための「知的 障害者通所作業所」、引きこもり状態にある不 登校児童生徒を対象とし、社会適応能力の開 発を行う「適応指導教室」、女性の社会参加 やキャリアアップ等により雇用安定を推進す る「女と男パートナーシップセンター」など これらの機能を兼ね備えた施設を開設し、人 がいきいきと輝きいつまでも地域で生命を 育むことができる「躍動と夢の郷妙高」の実 現を目指す。	10903	・勤労青少年ホームの施設転用	生活福祉	
10	新潟県	川西町	仙田郷自然体 験交流ゾーン 推進計画	農林水産省の中山間地域総合整備事業で 整備した仙田郷の活性化拠点施設「仙田体 験交流館」を一部転用し、来訪者や地域住 民から要望の多い館内での飲食提供や農 産物の販売を実施する。このことにより、 体験交流館の拠点機能を強化し、交流館 運営の改善はもとより、体験交流館を中 心とした地域活動、グリーン・ツーリス ムの展開により、交流人口を拡大し、 地域農業農村の発展を図る。	13004 210001 230004	・補助対象施設の有効活用 ・市民農園で生産された農作物の販売が 可能な範囲の明確化 ・都市と農山漁村の共生・対流に 関する施策の連携強化	都市農村 交流・農 林水産・ バイオ マス	
11	新潟県	松之山町	癒しとくつろ ぎの里地域再 生計画	松之山町は、全国でも有数の豪雪地帯 であり、過疎、高齢化が著しいため、 地域の活性化が課題となっている。そ こで、町の基本構想である「自然と 共生する魅力あるまちづくり」の実 現に向けて、補助事業により整備さ れた旧保育所を都市との交流や特 産品開発等のための拠点施設とし て整備することにより、様々な地 域資源を有効活用し、地域住民の 「知恵と工夫」による事業展開によ って地域経済の活性化と雇用の創 造を図る。	10905	・社会福祉施設の転用の弾力的な承認	都市農村 交流・農 林水産・ バイオ マス	
12	富山県	富山県	とやま創業 ベンチャー活 性化計画	富山県の経済の活性化を図るためには、 IT、バイオ、深層水などの成長産業 をはじめ、様々な分野で創業・ベン チャーを振興することが重要であり、 相談指導体制、人材育成、資金面 の支援、ビジネスマッチング、技 術開発支援についての施策を総合 的に展開する。特に、人材育成に ついて、若者、女性、熟年者など の創業を支援する「起業未来塾 (仮称)」を創設するほか、資金面 について、日本政策投資銀行の 低利融資や国民生活金融公庫融 資の要件緩和に向けた取組みによ り、創業者、ベンチャー企業の 資金調達を支援する。	10701 13003	・日本政策投資銀行の低利融資 ・国民生活金融公庫の「新規開 業特別貸付等の保証人特別措置」 の条件緩和に向けた取組み	地場産業・ 中小企業 活性化	

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共 団体名)	地域再生計画 の名称	地域再生計画の概要	地域再生 の支援措 置の番号	地域再生支援措置の内容	地域再生 分野	備考
13	福井県	武生市	武生市里地里山地域再生計画	武生市白山地区は、数々の絶滅危惧生物が生息しており、平成13年には国の重要湿地500選に選ばれ、平成16年には、里地里山保全再生モデル事業実施地域に全国4ヶ所のひとつとして指定されている。この豊かな自然を将来に渡り保全するとともに地域資源として最大限に活用するため、行政、地域自治組織、NPO、地元住民等が一体となった施策を行い、あわせて、農業の担い手や地域自治の人材を育成する。このことで、従来のコミュニティをよりいっそう充実し、本地区の豊かな自然環境の保全、生物多様性の復元、そして地域活性化を目指す。	11203	・地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置	都市農村 交流・農林 水産・バイ オマス	
14	福井県	小浜市	「心やすらぐ美食の郷・御食園若狭おばま」推進計画	福井県小浜市は、「海のある奈良」と呼ばれ、大陸と奈良や京の都を結ぶ海陸交通の要衝として栄え、朝廷へ食材を提供してきた「御食園」として役割を果たしてきたことを素材に、「食のまちづくり」を進めている。小浜市固有の歴史と文化、食材をもとに、農林水産、観光はもとより福祉、教育までの施策の基本理念として食のまちづくり条例を定め、食を中心とした地域産業の振興、自然との共生、良好な景観形成を通じ、地域の活性化と振興を図る。	230004 212016 213004 230009 212033 230007	・都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化 ・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実 ・エコツーリズムに対する支援 ・良好な景観形成の推進 ・路地や細街路の美しいたたずまいの保全・再生 ・案内標識に関するガイドラインの策定	都市農村 交流・農林 水産・バイ オマス	
15	岐阜県	飛騨市	地下空間活用地域まるごと再生計画	国の地域再生支援措置を活用しながら「情報」「学習」「交流」を柱とするプロジェクトを総合的に推進することにより「科学と文化と交流のまち、飛騨市の実現をめざす。具体施策として地下空間を活用する「危機回避のための情報バックアップセンター」の整備、世界を担う創造力あふれた青少年の夢を育む「自然科学体験学習施設」の整備、「文化遺産・石積み」の棚田と板倉整備、や「自然を最大限活かした3層原の回遊」及び「匠のまちの歴史空間を回遊」による本物の癒し空間の創出を図り、人的・物的・経済的な社会貢献を図る。	11203 210005 212028 213004 230004	・地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置 ・新山村振興等農林漁業特別対策事業の事業主体の拡充 ・まちづくり交付金の創設 ・エコツーリズムに対する支援 ・都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化	産業再生・ 産学連携・ 雇用創出	
16	愛知県	豊橋市	東三河の顔再生計画	豊橋市の中心市街地は古くより様々な都市機能が集積する東三河地域の中心部として発展してきた。しかし、近年様々な理由により中心市街地内に広大な空地が発生している。これらの空地に新たな機能を持たせ再利用することが中心市街再生の鍵であり、本計画では中心市街地内の代表的な空地に対して行われる事業のハード面とソフト面それぞれに支援措置を利用することにより、円滑な事業運営とニュービジネスを創出し、中心市街地「東三河の顔」を再生することを目標としている。	201001 201002 212002 230001 212028	・映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化 ・民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化 ・道路占用許可弾力化(オープンカフェ等) ・道路使用許可・道路占用許可の手続改善 ・まちづくり交付金の創設	産業再生・ 産学連携・ 雇用創出	
17	愛知県	豊田市、藤岡町、小原村、足助町、下山村、旭町、稲武町	水と緑のゆたかさ創造都市づくり計画 ～都市と農山村の共生～	自動車産業を中心に活力ある産業都市と、広大な森林など豊かな自然を有するものの過疎化や地域産業の衰退が進む周辺農山村地域の町村が一つの圏域として共存共栄していくため、都市活動の基礎である産業及び住民生活を支える水、水を湛える矢作川、水を育む森林という「水と緑」の保全と活用の仕組みづくりと都市地域と農山村地域間の交流の軸たる交通の確保を図り、都市住民と農山村住民が共に考え行動しながら都市・農山村間双方に有益な関係を築くとともに、新たな「ゆたかさ」を実感しうる地域の実現を目指す。	210001 212016 212017 212018 212022 212028 212031 212031 230004 230007 230009	・市民農園で生産された農作物の販売が可能な範囲の明確化 ・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実 ・「地域交通会議(仮称)」の設置 ・コミュニティバス、乗合タクシーの許可に関する基準の弾力化等 ・NPO等によるボランティア輸送の全国展開 ・まちづくり交付金の創設 ・「水辺の自由使用ガイドライン」の策定 ・都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化 ・案内標識に関するガイドラインの策定 ・良好な景観形成の推進	都市農村 交流・農林 水産・バイ オマス	
18	兵庫県	姫路市	賑わいと活気あふれる中心市街地再生計画	本市の中心市街地は、最大の集客施設である世界文化遺産・国宝姫路城とJR姫路駅を結ぶ幅員50mの大手前通りを中心に広がっていることが特色であり、近年停滞しているものの、中心市街地における商店街等の存在感は依然として大きい。 このため、特別史跡である姫路城及び周辺地域、大手前通り等の有利なロケーションを活かしたイベント等を実施し、非日常的かつ魅力的な舞台を演出することにより、観光客に限らず、中心市街地における人の往来や消費を増大させ、地域経済の活性化を図る。	201001 201002 212002 230001	・映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化 ・民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化 ・道路占用許可弾力化(オープンカフェ等) ・道路使用許可・道路占用許可の手続改善	国際交流・ 観光	

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画 の名称	地域再生計画の概要	地域再生 の支援措 置の番号	地域再生支援措置の内容	地域再生 分野	備考
19	兵庫県	三木市	市民との協働による歴史文化の香るまちづくり ～三木市中心市街地再生と市民融和～	三木市は、三木城を中心とした城下町を基礎とした歴史的景観と高度成長期に造成された大規模住宅団地の2つの顔を持っており、歴史的建築物や街道保全と新・旧・住民のコミュニティの醸成などの課題がある。このため、歴史街道モデル事業に認定された湯の山街道の歴史的景観の保全、古民家を活用した観光拠点施設やまちづくり活動拠点施設を整備・活用することにより、中心市街地を再生させ、交流人口・定住人口の増大を図る。	208001 212016 212028	・地域づくり支援室などアドバイザー機能の強化 ・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実 ・まちづくり交付金の創設	住環境・コミュニティ再生	
20	奈良県	室生村	アートアルカディアの村づくり再生計画	文化芸術の視点から独自の村づくりを進める室生村は、アートアルカディア計画を策定し、地域の文化資源や精神財産を再評価・活用することにより、新しい観光産業の創造を図り、地域の再生をめざしている。その一環として、過疎化・少子化に伴い廃校となった小学校の校舎を宿泊研修施設等に改修し、文化芸術・農業文化をテーマとした体験プログラムを通じ都市住民との交流を促進させる。また、地域住民が主体的に取り組むことにより、雇用の創出と地域活力を高める。	10401	・公共施設の転用に伴う地方債繰上償還免除	都市農村交流・農林水産・バイオマス	
21	和歌山県	太地町	鯨の民の鯨による町作り計画	古式捕鯨発祥の地である太地町は、商業捕鯨禁止により対象外の小型鯨類を対象とした捕鯨を細々と行っているが、若者の就業機会の減少、少子高齢化が一段と進んでいる。当町には「くじらの博物館」を中心とした観光施設があり、鯨類飼育技術のノウハウもあるため、観光施設周辺で小型鯨類を利用した様々な取組を通して、捕鯨技術・食文化の継承、雇用機会の創出を図り、地域活性化に繋げる。	212016 230007 213004	・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実 ・案内標識に関するガイドラインの策定 ・エコツーリズムに対する支援	産業再生・産学連携・雇用創出	
22	島根県	島根県	しまね田舎ツーリズムの推進による農山漁村地域再生計画	地域の自然、風土や歴史・文化に触れたり地域の人々との交流を楽しむ新たな旅行スタイルであるグリーンツーリズム、エコツーリズム、ブルーツーリズムやB&Bなどを総称した表現を「しまね田舎ツーリズム」とし、行政と地域住民が協働して積極的に推進していく。また、都市住民のニーズと地域での波及効果も高いと期待される農山漁村民泊を推進するとともに、既存の宿泊交流施設や観光施設とも連携することにより、交流型産業の振興と住民自身が誇りを持った地域づくりを目指す。	230004 213004	・都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化 ・エコツーリズムに対する支援	都市農村交流・農林水産・バイオマス	
23	広島県	竹原市	竹原にぎわい観光再生計画	本市の地域資源である国の伝統的建造物群保存地区である上市・下市の伝統的な町並み及び瀬戸内海国立公園である大久野島・黒滝山などの自然環境を有効活用した観光振興を図るため、特定地域プロジェクトチームを設置して関係省庁の支援を受けるとともに、道路使用許可等の手続き改善、案内標識に関するガイドラインの策定などにより自然と一体となった観光振興によるにぎわいの創出と活性化の実現に取り組む。	11203 201001 201002 230001 230007	・地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置 ・映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化 ・民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化 ・道路使用許可・道路占用許可の手続き改善 ・案内標識に関するガイドラインの策定	国際交流・観光	瀬戸内に輝く竹原自然・まちなみ再生特区(同時認定)
24	山口県	美祿市	自然と調和した中心地区のにぎわいの再生計画	美祿市では「化石と花のまち美祿」というキャッチフレーズとともに、「ゆとり、やすらぎ、にぎわい」あふれるまちづくりの実現を目指しているが、市の中心部の南側は農地や山林がほとんどで、住宅がわずかに点在する程度であり、インフラ整備が進んでいない。このため、南側地区を中心に、土地区画整理事業、都市計画道路の整備に併せ、まちづくり交付金の活用による区画道路などの道路網の整備を検討することにより、居住環境の改善を図り、居住性や回遊性を高め、自然を活かしたやすらぎの空間を創出し、中心地区のにぎわいを再生する。	212002 212016 212028 230007	・道路占用許可弾力化(オープンカフェ等) ・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実 ・まちづくり交付金の創設 ・案内標識に関するガイドラインの策定	住環境・コミュニティ再生	

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共 団体名)	地域再生計画 の名称	地域再生計画の概要	地域再生 の支援措 置の番号	地域再生支援措置の内容	地域再生 分野	備考
25	愛媛県	西条市	西条市起業家 マインド醸成計 画	西条市では、大きな夢を持った子供たちを地 域で育てていきたいとの考えに基づき、ペン チャースピリッツ・スクール、うちぬき創造塾、 トレーディングゲーム、日経エデュケーショ ンプログラムを実施しているが、体系的な育成 プログラム、実施体制等の育成環境の整備が 課題となっており、「特定プロジェクトチーム」の 設置を適用し、地域全体で起業家マインドを醸 成していく仕組みづくりを検討・構築・運営して いくことにより、起業を含む地域雇用の創造と 地域経済の活性化を図っていく。	11203	・地域再生支援のための「特定地域プロジェクト チーム」の設置	産業再生・ 産学連携・ 雇用創出	
26	愛媛県	西条市	西条市食品加 工流通コンビ ナート構想	西条市では平成16年度から、地域技術であ るMH冷凍・冷蔵システムを活用して農水産地 で集荷・加工・貯蔵し消費地に供給するシステ ムを構築することにより、農水産業、食品製造 業等の食料産業の集積を図る「食品加工流通 コンビナート構想」を提唱し、氷温産品の開発 等の取り組みを開始したところであり、地域再 生支援のための「特定プロジェクトチーム」の設 置を適用することによって、食料産業の雇用増 加、都市間競争力の強化等を実現させ、地域 経済の活性化を達成する。	11203	・地域再生支援のための「特定地域プロジェクト チーム」の設置	産業再生・ 産学連携・ 雇用創出	
27	熊本県	菊池市	里山コミュニ ティー再生計 画	「菊池市農村女性の家」は、恵まれた自然環 境や豊かな農林畜産物の地域資源を活かした 伝承料理、生活改善についての知識及び技術 を習得する場として建設されたが、時代の流れ とともに農村生活も変化し、利用の多かった施 設も利用率が低下した。当該施設を、高齢者の 技術指導による農業担い手育成や新規就農者 支援により多様な生産組織を育成するための 場として、また、農産物に附加価値をつける特 産品開発拠点としてリニューアルし、地域の基 幹産業である農林業の再生を促進し、農村集 落としてのコミュニティ機能回復と後継者を 育成することにより地域の活性化を目指す。	10402 13004	・公共施設を転用する事業へのリニューアル債の措 置 ・補助対象施設の有効活用	都市農村 交流・農林 水産・バイ オマス	
28	大分県	日田市	人・自然と歴史 が輝くまち日 田市	本市は古くから自然の豊かさ、美しさを称賛さ れ、江戸時代に天領となり、九州の政治・経 済・文化の拠点として、栄華を極めたが、今日 の少子化や人口流出などにより、まちの活気 や賑わいを失いつつある。住民が自ら考え行 動することを行政が支援していくことを念頭に、 「環境」をキーワードに豊富な地域資源を今後 活用していくことにより、まちが賑わい、人が活 き活きと暮らし、さらには環境を重視したまちづ くりを目指す。	201001 201002 212017 212028 212030 212031 212031 212031 212031 212031 230001 230003 230004 230009	・映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使 用許可の円滑化 ・民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の 円滑化 ・「地域交通会議(仮称)」の設置 ・まちづくり交付金の創設 ・河川占用における「包括占用制度活用ガイドラ イン」の策定等 ・「水辺の自由使用ガイドライン」の策定 ・エコツーリズムに対する支援 ・道路使用許可・道路占用許可の手続改善 ・バイオマスタウンの実現に向けた取組み ・都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携 強化 ・良好な景観形成の推進	住環境・コ ミュニティ 再生	
29	静岡県	小山町	交流人口拡大 による地域再 生計画	小山町は、首都圏から100km圏内に位置して おり、基幹道路はあるものの、ただ通りすぎる だけの道路としての性格が強い。また、民間観 光施設に恵まれてはいるが、経済効果は限定 的である。そこで、日本の象徴である富士山や 水と緑の豊富な小山町の地域資源を活用した フィルムコミッションによる映画ロケや国際ヒル クライムの開催、FC足柄によるサッカー活動の 活性化を推進するとともに、まちづくり交付金を 活用した「道の駅」とまちづくり計画を進め、交 流人口の拡大に見合った経済効果を地域住民 が実感できる事業を推進していく。	201001 208001 212028	・映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使 用許可の円滑化 ・地域づくり支援室などアドバイザー機能の強化 ・まちづくり交付金の創設	国際交流・ 観光	支援措置 の追加を伴 う変更
30	兵庫県	兵庫県	明舞団地再生 計画	高度成長期に兵庫県が開発した明舞団地 は、高齢化や老朽化が進出し、地域活力の低 下、コミュニティ機能の衰退等が大きな課題と なっている。オールドタウン化が進む明舞団地 において、行政、住宅・施設管理者、住民、NP O、民間企業等の関係主体が積極的に連携し、 ハードとソフトの両面から再生・活性化を図 り、居住者ニーズ、ライフスタイルの変化等 に対応した魅力と活力のある“新しいふるさと づくり”を進める。もって、団地再生のモデル的取 組を示し、地域コミュニティの活発化、地域経済 の活性化、雇用機会の増大等を図る。	11202 11204 212015 212026 230004	・公営住宅における目的外使用承認の柔軟化 ・公営住宅における目的外使用承認の柔軟化(対 象の拡大) ・「地域再生支援チーム」の設置 ・駅・まちバリアフリー関連の情報の提供 ・都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携 強化	住環境・コ ミュニティ 再生	支援措置 の追加を伴 う変更

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共 団体名)	地域再生計画 の名称	地域再生計画の概要	地域再生 の支援措 置の番号	地域再生支援措置の内容	地域再生 分野	備考
31	兵庫県	小野市	NPOとの協働 によるまちづく り ～自治体と住 民の関係再編 による地域活 性と自治体改 革～	今日の自治体にとっては、経営の改革や政策の実施等と共に、市民自らが判断し行動できるシステムづくりが重要な課題となっている。そのため、市民団体の活性化と協働体制の構築を行い、自治体と住民の関係再編という考え方にたった地域の改革と自治体改革を目指す。市民活動の拠点として、「うるおい交流館」を建設すると共に、市民活動の活性化を目指すNPO法人の活動支援、指定管理者制度による施設運営の全面委託、また、アウトソーシングの推進と地域雇用の確保等、官民の役割分担を行う。また、補助金で整備された中央公民館を転用し、市民が自由に利用できる地域コミュニティセンターとして整備し、地域住民が主体的に「ひとおこし、まちおこし、ものおこし」事業を推進することのできる拠点施設とする。	13004 212028 208001	・補助対象施設の有効活用 ・まちづくり交付金の創設 ・地域づくり支援室などアドバイザー機能の強化	住環境・コ ミュニティ 再生	支援措置 の追加を伴 う変更